殺虫殺菌剤
キノキサリン系水和剤

兼商モレスタン®水和剤

農林水産省登録　第１９７２３号
（アグロ　カネショウ（株）登録）
性状：黄色水和性粉末　６３μm以下
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物：非該当
有効年限：５年
包装：５００ｇ×２０

有効成分：キノキサリン系（化管法第２種）・・・・・２５.０％

殺虫剤分類	ＵＮ
殺菌剤分類	Ｍ１０

モレスタン®はドイツ・バイエル社の登録商標です。

特長
○各種作物のうどんこ病に効果が高く、コナジラミ類にも有効です。
○ハダニ類に効果が高く、サビダニ、ホコリダニにも有効です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	１０アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む農薬の総使用回数
かんきつ（みかんを除く）	ハダニ類 チャノホコリダニ ミカンサビダニ	１０００～２０００倍	２００～７００ℓ	収穫３０日前まで	１回	散布	１回
みかん	ハダニ類 チャノホコリダニ ミカンサビダニ	１０００～２０００倍	２００～７００ℓ	収穫７日前まで	３回以内	散布	３回以内
きゅうり	コナジラミ類	２０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	３回以内	散布	３回以内
	うどんこ病	２０００～４０００倍					
すいか	うどんこ病	２０００～４０００倍	１００～３００ℓ	収穫３日前まで	５回以内	散布	５回以内
メロン まくわうり	うどんこ病	２０００～４０００倍	１００～３００ℓ	収穫３日前まで	１０回以内	散布	１０回以内
かぼちゃ	うどんこ病	２０００～４０００倍	１００～３００ℓ	収穫３日前まで	３回以内	散布	３回以内
にがうり	うどんこ病	２０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	４回以内	散布	４回以内
トマト	コナジラミ類 トマトサビダニ	１５００～２０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	５回以内	散布	５回以内
ピーマン	チャノホコリダニ うどんこ病	２０００～３０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	３回以内	散布	３回以内
なす	チャノホコリダニ	２０００倍	１００～３００ℓ	収穫前日まで	３回以内	散布	３回以内
	うどんこ病	２０００～３０００倍					
しそ	ハダニ類 シソサビダニ	３０００倍	１００～３００ℓ	収穫１０日前まで	３回以内	散布	３回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	１０アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系を 含む農薬の 総使用回数
オクラ	ハダニ類 うどんこ病	３０００倍	１００～ ３００ℓ	収穫前日 まで	３回以内	散布	３回以内
いちご	うどんこ病	３０００～ ４０００倍	１００～ ３００ℓ	収穫前日 まで	２回以内	散布	２回以内
みょうが （花穂）	ハダニ類	３０００倍	１００～ ３００ℓ	収穫前日 まで	３回以内	散布、但し花穂の 発生期にはマルチ フィルム被覆により 散布液が直接花穂に 飛散しない状態で 使用する。	３回以内
みょうが （茎葉）	ハダニ類	３０００倍	１００～ ３００ℓ	みょうが（花穂）の 収穫前日まで 但し、 花穂を収穫しない 場合にあっては 開花期終了まで	３回以内	散布	３回以内
はすいも （葉柄）	ハダニ類	３０００倍	１００～ ３００ℓ	収穫前日 まで	３回以内	散布	３回以内
食用さくら （葉）	うどんこ病	３０００倍	１００～ ７００ℓ	収穫２１日前 まで	３回以内	散布	３回以内
桑	ハダニ類	１０００～ ２０００倍	２００～ ７００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
	裏うどんこ病	２０００倍					
花き類・観葉植物 （カーネーションを 除く）	うどんこ病	２０００～ ３０００倍	１００～ ３００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
カーネーション	ハダニ類	１０００倍	１００～ ３００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
	うどんこ病	２０００～ ３０００倍					
樹木類(こでまり、 ポインセチア、 やなぎを除く）	うどんこ病	２０００倍	１００～ ７００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
こでまり	うどんこ病	２０００～ ３０００倍	１００～ ７００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
ポインセチア	コナジラミ類	１０００～ ２０００倍	１００～ ７００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
	うどんこ病	２０００倍					
やなぎ	ハダニ類	１０００倍	１００～ ７００ℓ	発生初期	１０回以内	散布	１０回以内
	うどんこ病	２０００倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系を 含む農薬の 総使用回数
ばら	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	うどんこ病	２０g／１００m^3 （５０m^2×２m）	ー	ー	１０回以内	くん煙	１０回以内
ピーマン	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	うどんこ病	２０g／１００m^3 （５０m^2×２m）	ー	収穫前日 まで	３回以内	くん煙	３回以内
きゅうり	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	うどんこ病	２０g／１００m^3 （５０m^2×２m）	ー	収穫前日 まで	３回以内	くん煙	３回以内
			５０～１００g ／１０a	５ℓ ／１０a			常温煙霧	
メロン	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	うどんこ病	１００g／１０a	５ℓ ／１０a	収穫３日 前まで	１０回以内	常温煙霧	１０回以内

使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
●水溶性フィルム包装の場合、内袋は濡れた手で触れないでください。内袋はそのまま所定量の水に投入してください。保管中に、内袋に着色が見られることがありますが、本剤の品質に影響はありません。外袋の開封後は使い切ることをおすすめします。やむを得ず保管する場合でもできるだけ速やかに使いきってください。
●盛夏の高温時及び、施設内の高温時での使用は、薬害を生じるおそれがあるので、所定範囲内での低濃度で使用してください。又、定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないでください。
●かんきつの盛夏高温時での散布は、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
●いちごの収穫間近（果実が白味をおびる頃）での散布は、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
●オクラの着果期以降での散布は、果実に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
●コナジラミ類に対しては ２令幼虫～成虫に対する効果は低いので発生初期の卵の多い時期に散布してください。
●本剤をはすいも（葉柄）に使用する場合、葉面の薬液溜まりの部分に褐変を生じることがあるので注意してください。
●カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後１４日間は入水しないでください。
●蚕に対して影響があるので、桑に使用後５日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
●樹木類に使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、開花期及び新葉展開期の使用をさけてください。
●本剤の連続使用は、ハダニ類の薬剤抵抗性の増加や薬剤耐性菌の出現等により効果が減ずるおそれがあるので、過度の連用をさけ、他の薬剤との輪番で使用してください。
●ハウス等の常温煙霧又はくん煙用として使用する場合は特に次の事項に注意してください。
　〇煙霧用として使用する場合は、専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
　〇くん煙用として使用する場合は、専用のくん煙器（蒸散器）により所定の方法でくん煙してください。
　〇作業はできるだけ夕刻行ない、作業終了後煙霧の場合は ６時間以上、くん煙の場合は １２ 時間以上密閉しておいてください。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気して入室してください。
　〇作業中及びハウスの密閉中は室内に入らないでください。やむを得ず入室する場合は防護マスク、長袖作業衣、 手袋等を着用してください。
●ポインセチアに使用する場合、品種によっては苞葉に薬害を生じることがあるので、苞葉着色後の使用はさけてください。
●花き類に使用する場合、開花中の花弁には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●粉末は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
●水溶性フィルム包装の場合、内袋は濡れた手で触れないでください。
●くん煙及び常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、くん煙及び常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。
●水溶性フィルム包装の場合、吸湿性があるので湿気には十分注意し、やむを得ず保管する場合は外袋の口を固く閉じてください。